

介護の世界を明るく変える 介護ロボットの開発

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドインジャパン
試作可
小ロット
量対応



介護ロボット「ロボヘルパー サスケ」。(左上は「一体型ACサーボシステム」)

業務内容

巨大テーマパークの
キャラクターにも採用

マッスルの玉井社長は、同社の主力製品である一体型ACサーボシステムを「インテリジェントモーター」と呼ぶ。モーター制御に必要な周辺装置をモーターと一体化し、人間の筋肉のような自然な動きが再現できるためだ。

モーター自身に制御機能を持たせたことで、機構は扱いやすくシンプルで、コンパクトなサイズに。多様な用途に応用しやすくなった。

例えば平成22年の上海万博で日本産業館の壁をよじ登り注目を集めた「夢ROBO」。手足を器用に動かしていたあの人型ロボットには、一体型ACサーボシステムが6個搭載されている。他にも日本を代表する巨大テーマパークのキャラクター等、産業ロボットや人工呼吸器等にも採用されている。

応用製品

介護の世界を明るく
おしゃれに変えるロボット

最近ではモーター単体だけでなく、オリジナルロボットの開発にも力を入れる。現在、手掛けているのが介護ロボットの「ロボヘルパー サスケ」と「ロボヘルパー ラブ」。まずサスケは移動を手助けする装置で、「お姫様だっこをイメージして開発した」。力の弱い女性がお年寄りを抱えるのは難しいが、サスケを使えば優しく抱きかかえるようにベッドから持ち上げることができ、車いす等に運べる。

一方のラブは排泄物の処理を手助けする装置。特殊センサで大・小便を自動判別し、吸引・洗浄・除菌運転も自

強み

世界の知恵を結集し
世にないロボットをつくる

動で行う。共に一体型ACサーボシステムを内蔵し、コンパクトなサイズを実現した。「介護の世界はきつい、汚い、臭いといわれるからこそ、明るく、おしゃれにしたい」と玉井社長。世界で活躍するプロダクトデザイン・喜多俊之氏による、インテリアとして映えるデザインも魅力だ。



排泄物の処理を手助けする「ロボヘルパー ラブ」

今後の展望

「医療」と「ロボット」を
キーワードに展開

サスケとラブは、平成25年春に量産体制を築く予定になっている。

今後の展望としては、「医療」と「ロボット」をキーワードに、「多くの方にこんなものがほしかったと喜んでもらえるものづくり」を目指す。

COMPANY PROFILE

マッスル株式会社

関西23

当社の歴史

メーカーの技術者でしたが、企業利益と自分が目指す方向に齟齬が生じ、「自分がやりたいことをしよう」と起業しました。その後、マイクロ制御で動く人工呼吸器の電装品一式を世界で初めて開発し、現在は一体型ACサーボシステムが世界中でシェアを伸ばしています。「どうせやるなら世界一を手掛けたい」。その思いでロボット開発に本腰を入れていきます。

どうせやるなら世界一を目指し、世にない
ロボットの開発を続ける。

代表取締役 玉井 博文さん



■主な事業内容

FA機器・ロボット・医療用機器等の制御システムの製造・開発等

■主な取引先(納入先)

産業装置メーカー、精密機器メーカー、医療機器メーカー等

住所/〒532-0012

大阪市淀川区木川東
2-5-35

TEL / 06-6886-2885

FAX / 06-6886-2889

創業/昭和63年5月

設立/昭和63年5月

資本金/1,110万円

従業員/50名

<http://www.musclecorp.com/>